

道としての節電対策について

区 分	取 組 例
庁舎ごとの取組	<ul style="list-style-type: none"> ■廊下・執務室照明⇒一斉に減灯 <ul style="list-style-type: none"> ・不要な照明の消灯 通常の1/2程度を減灯など ■エレベータ⇒使用台数の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・稼働台数の半減 ・エスカレーターを停止 ■空調設備⇒原則停止 <ul style="list-style-type: none"> ・窓を開放し換気を行う ■給湯設備⇒使用の自粛 <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り給湯設備を停止するとともに供給エリアにおいても使用の自粛を行う ■電気製品⇒原則使用禁止 <ul style="list-style-type: none"> ・電気ポットは、昼休み時間帯以外の使用を自粛 ・冷蔵庫の使用は、原則禁止 ・電子レンジ、コーヒーマーカーは使用禁止 ・テレビ、ビデオは、使用時以外コンセントを外す ■OA機器⇒待機電力の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・昼休み時間中、パソコンのコンセントを外す ・省電力設定を行う
職員行動	<ul style="list-style-type: none"> ■次の取組などについて、職員の創意工夫により実施 【OA機器】 <ul style="list-style-type: none"> ・退庁時におけるパソコンのコンセントオフ ・離席時におけるパソコンのスリープモード化 ・プリンタ共有機能の活用による使用台数の抑制 など 【職場環境】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気のため窓際付近の書類等の整理 ・当番制による節電行動チェック など 【周知徹底・情報共有】 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内放送を最大限活用した節電の呼びかけの強化 【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ・5階程度の移動については、エレベーターの使用を自粛する。 ・トイレ鏡照明、温水便座の使用を禁止する。

※ 具体的な取組にあたっては、来庁者や執務室の状況、職員の健康などに配慮するとともに、各職場における創意工夫と自主性のもと推進していく。

道としての節電対策について

○道(本庁舎等)における電力使用量の区分別実績

分 類	構成比 (8月平均)	平日(9/5)最大 電力使用量 [*] (kw)
動力(空調・給湯設備)	49%	669
電灯(照明・コンセント類)	33%	450
動力(防災・給排水)	12%	177
エレベーター	3%	41
冷房	2%	27
計	100%	1,364

※最大電力使用量の内訳は推計

○重点的な取り組み

- ①空調設備は、原則として停止する。
窓を開放し、自然換気を行う。
- ②給湯設備は、使用しない。
- ③照明は、必要最低限で点灯する。
業務に関係ない電気機器のコンセントは抜く。
- ④退庁時は、OA機器のコンセントを抜く。
- ⑤エレベーターは、できる限り使用しない。
低層階は、階段を利用する。

平成30年北海道胆振東部地震に関する水道施設の被害状況及び対応状況

北海道環境生活部

9月9日 15時00分 現在

1 断水被害の概要

区 分		9月9日(日) 15:00現在	9月8日(土) 15:00現在	9月6日(木) 【地震発生日】
断水市町村数		3振興局 6市町	3振興局 6市町	13振興局 45市町村
断水戸数		約8,486戸	約26,686戸	62,066戸以上
内訳	水道施設被害	約8,486戸	約23,486戸	25,285戸以上
	停電が原因	0戸	約3,200戸	36,781戸以上

2 断水被害のある市町村の状況

振興局	市町村	地区	水道の種別	被害状況			応急給水等の対応状況	備考
				原因	状況	影響戸数(人数)		
石狩	札幌市	里塚配水池(清田区、厚別区の一部)	上水道	水道管の破損	断水	211戸 (15,000→211)	・応急給水実施中(2カ所) ・完全復旧は未定	
胆振	安平町	ほぼ全域	上水道	水道管破損による浄水場送水停止	断水	3,222戸 (3,351→3,222)	・浄水場再起動 ・町内4カ所(給水車:町3台、自衛隊1台)にて応急給水実施 ・自家発電により一部地域で断水解消 ・管路の漏水調査を実施中、修繕工事を開始	
	厚真町	全域	簡易水道	浄水場機能不全	断水	全戸 (約2,100戸) (4,700人)	・町内9カ所にて応急給水実施 ・これまで使用していた浄水場の再稼働作業中 ・管路の漏水調査を開始	9/7~9 先遣隊として道職員1名と日水協道支部3名を派遣
	むかわ町	穂別地区	簡易水道	水道管路の破損	断水	826戸 (3,200→826)	・自衛隊による応急給水(5箇所) ・断水地区へのバイパス管等による切替作業中	9/10~13 道職員を引き続き派遣 9/9 日水協道支部では現地対策本部を設置(安平町役場内)
日高	日高町	本町(門別) 富川西 駒岡	上水道	水道管路の破損 浄水場の破損	断水	2,087戸 (2,285→2,087)	・給水タンクによる応急給水(2カ所) ・自衛隊へ応援要請 ・管路の漏水調査及び応急復旧工事実施中	
	平取町	振内地区	簡易水道	水道管路の破損	断水	40戸 (750→40)	・自衛隊による応急給水(1カ所)	

計 3振興局

6市町

約8,486戸

2 断水が解消・回避された市町村

9月9日 15時

振興局	市町村	地区 (現在給 水人口)	水道の 種別	被害状況			対応状況	復旧状況
				原因	断水状況 (期間)	影響戸数 (人数)		
石狩	石狩市	花川北配 水場地区	上水道	停電 自家発電 設備故障	断水	不明	自家発電設備の復旧	断水解消
	江別市	上江別浄 水場給水 地区	上水道	停電	断水	23,500戸 (51,000人)	通電開始による	断水解消
	恵庭市		上水道	停電	断水	14戸	通電開始による	断水解消
	札幌市	8地区	上水道	停電	断水	108戸	通電再開による	断水解消 (9/8 7:20)
後志	喜茂別町		簡易水道	停電	断水	35戸	自家発電設備用燃料 到着による	断水解消
	京極町		簡易水道	通電	断水	50戸	—	断水解消
	余市町		上水道	通電	断水	50戸	—	断水解消
	赤井川村		簡易水道	通電	断水 断水解消 (9/7 0:00)	65戸	—	断水解消
	小樽市	奥沢 北手宮 伍助沢	上水道	停電	断水	48戸	通電再開による	断水解消 (9/7 23:00)
空知	栗山町		上水道	水道管破 損	断水	不明	破損箇所修繕による	断水解消
	南幌町		上水道 (長幌上水 道企業団)	水道管破 損	断水	不明	破損箇所修繕による	断水解消
	三笠市		上水道	停電	断水	約100戸	通電再開による	断水解消
	沼田町		上水道	停電	断水	戸数不明	通電再開による	断水解消
	秩父別町		簡易水道	通電	断水	10戸	—	断水解消 (9/7 1:00)
	夕張市	楓地区 南清水 沢地区	上水道	通電	断水	4戸	—	断水解消 (9/6 20:30)
	浦臼町 雨竜町		上水道 (西空知広域 水道企業団)	停電	断水	48戸	通電再開による	断水解消 (9/8 6:30)
渡島	函館市		上水道	停電	断水	522戸	通電再開による	断水解消 (9/7 11:10)
檜山	上ノ国町		簡易水道	停電	断水	6戸	通電再開による	断水解消 (9/7 15:30)
胆振	登別市		上水道	停電	断水	30戸	通電再開による	断水解消
	伊達市		上水道	停電	断水	300戸	通電再開による	断水解消
	壮瞥町		簡易水道	停電	断水	10戸	通電再開による	断水解消 (9/8 9:00)
	洞爺湖町		上水道	停電	断水	20戸	通電再開による	断水解消 (9/8 9:00)
	室蘭市		上水道	停電	断水	2,910戸	通電再開による	断水解消 (9/8 9:00)
留萌	羽幌町		上水道	停電	断水	約3,350戸 (約6,552 人)	通電再開による	断水解消 (9/7 7:00)
	増毛町	暑寒沢 湯ノ沢	上水道	停電	断水	17戸	通電再開による	断水解消 (9/8 10:10)
宗谷	浜頓別町		簡易水道	停電	断水	4戸	通電再開による	断水解消 (9/7 8:45)
オホー ツク	紋別市	渚滑地区	簡易水道	停電	断水	7戸	自家発電装置稼働に よる	断水解消
	佐呂間町	佐呂間地 区	簡易水道	停電	断水	60戸	自家発電装置稼働に よる	断水解消
	津別町	2カ所 活汲・相 生	簡易水道	停電	断水	17戸	通電再開による	断水解消 (9/8 9:30)
	置戸町	2カ所 川南・境 野	簡易水道	停電	断水	20戸	通電再開による	断水解消 (9/8 9:30)

上川	幌加内町		簡易水道	停電	断水	1戸	浄水処理再開（手動による薬品注入）による	断水解消
	愛別町		簡易水道	停電	断水	10戸	通電再開による	断水解消
	美瑛町		上水道	停電	断水	4戸	自家発電装置稼働による町が1戸にポリタンクで直接給水	断水解消
日高	平取町		簡易水道	濁水発生	断水	1,000戸	濁水解消のため20時通水再開	通水解消
	浦河町		上水道	停電	断水	約55戸	通電再開による	断水解消
十勝	更別村		簡易水道	停電	断水	1戸	通電再開による	断水解消 (9/7 1:15)
	音更町	西部地区 東部地区	簡易水道	停電	断水	4戸 1戸	自家発電装置稼働による	断水解消 (9/6 19:00)
	池田町		上水道	停電	断水	45戸	通電再開による	断水解消 (9/7 1:00)
	帯広市	太平地区	簡易水道	停電	断水	1戸	通電再開による	断水解消 (9/7 10:45)
釧路	釧路町	知方学 仙鳳趾	簡易水道	停電	断水	4戸 50戸	通電再開による	断水解消 (9/8 9:30)

13振興局 41 市町村

約32,481 戸以上

3 断水に至っていない市町村(当初、断水との情報があつた市町村)

空知	赤平市		上水道	停電	断水	全戸 (約4,200戸) (11,000人)	14:20通電再開による	断水回避
上川	中富良野町		簡易水道	停電	断水	6~8戸	配水池容量に余裕があるため	断水回避

2振興局 2 市町

4,208 戸

北海道胆振東部地震被害状況・対応状況等

9月9日(日)13:00現在

保健福祉部

1 医療関係

① 災害拠点病院(34)

すべて病院が災害拠点病院として対応中。なお、すべての病院が通電済。

② その他の医療機関(約900機関)

電源、燃料、水など医療機能の維持に必要な支援を実施中。

③ 人工透析患者

道内120の透析実施医療の患者受入等について調整済。

④ 在宅呼吸療法患者

停電による在宅酸素濃縮器使用者等の状況について、市町村、医療機器メーカーと連携し、確認、調整を実施、対処。

⑤ 医薬品等

卸売業者からの供給については支障なし。

2 福祉関係

- ・ 高齢者施設、障がい者施設、児童関係施設ともに大きな被害なし。引き続き情報収集。
- ・ なお、厚真町の高齢者施設及び障がい者施設（同一敷地内）において、スプリンクラーの一部破損により居室等が水浸しとなったため、入所者（109名）が別の社会福祉施設等に一時避難中。

3 災害ボランティアセンター

- ・ 北海道災害ボランティアセンターが、ニーズ把握、受入れ開始に向けた支援を実施中。
- ・ 厚真町、むかわ町、安平町において準備が整い次第、受入れ開始予定。
- ・ 安平町災害ボランティアセンターのホームページが開設され、ボランティアの事前登録を開始（9月9日）
- ・ 災害ボランティアにかかる情報を（道災害ボランティアセンターFB、道地域福祉課HP）提供開始。

4 人的支援

① DMAT(災害派遣医療チーム)

- ・ これまで、全68チームが現地で活動。7県（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県）からの支援を受けている。
- ・ このほか、DMATロジスティックチームが道内各地で後方支援実施

② JMAT(日本医師会災害派遣医療チーム)

- ・ 9月9日（日）から、道内2チームが現地で活動開始

③ DPAT(災害派遣精神医療チーム)

秋田県及び岩手県チームの支援を受けている。(本日(9/9)、厚真町の避難者対応中)
北海道DPATの派遣準備中。

④ 医師等の派遣

道立保健所の医師・獣医師等6名のチームを編成し、苫小牧保健所に派遣予定。(9月11日～)

⑤ 健康相談班の派遣

- ・苫小牧保健所保健師(6名)を安平町、厚真町、むかわ町にリエゾンとして派遣(9月6日)
- ・道立保健所の保健師チーム(12班32人)を被災地に派遣し、避難者の健康相談等を実施。(9月7日～)
- ・9/7 厚生労働省保健指導室に対し保健師の派遣を要請。厚生労働省において各県と調整のうえ、派遣される予定。(9月11日以降)

⑥ 事務職員の派遣

- ・保健福祉部総務課主幹1名をリエゾンとして厚真町(苫小牧保健所)に派遣。(9月7日～)

5 避難者支援

① エコノミークラス症候群の予防

- ・注意喚起のため、報道発表。(9月7日)
- ・今後、避難所等に訪問する保健師の健康相談班などが啓発チラシを配付し、注意喚起を積極的に実施予定。

② 避難所における食中毒予防

- ・各避難所における食中毒予防に係る衛生指導の実施について、各保健所に連絡。(9月7日)
- ・室蘭保健所及び苫小牧保健所管内に食中毒警報発令。(9月8日15時から48時間)

③ 入浴及び宿泊等の支援

- ・被災者に対する入浴及び宿泊等の支援について関係団体に協力を要請。(9月9日)

6 その他

① 災害義援金

- ・日本赤十字社北海道支部において、募集窓口の設置に向け、本社及び北海道共同募金会と協議中。
(募集窓口：日本赤十字社北海道支部・北海道共同募金会を予定)

② 国民健康保険関係

- ・被保険者証等を紛失した場合等の受診の取扱い及び被災被保険者に係る国民健康保険料(税)等に係る減免等の取扱いについて市町村等に通知。(9月7日)

節電の取組について（平成30年9月9日版）

経 済 部

平成30年北海道胆振東部地震に伴い発生した大規模な停電は、北海道のほぼ全域で復旧したが、国からは、道内の需要実績を踏まえれば、大規模停電を避けるためには、道内全域で、平常時より1割程度の大幅な節電が不可欠とし、また、老朽火力発電設備の故障等のリスクを踏まえ、平常時よりも2割の節電を目指すよう協力依頼があったことから、計画停電などの手段を極力回避するためにも、道として、道民の皆様に対し、広く節電の取組を呼びかけるとともに、節電対策に取り組んでいく。

1 道民や企業への自主的な節電の呼びかけ

<道民、企業共通>

① 国の節電要請の周知

・市町村、関係団体に発出 済

② 知事メッセージの発出・周知

- ・道民、各界各層に幅広く節電の取組を呼びかける「知事メッセージ」の発出
- ・道民や各部・振興局所管の関係団体等に周知

③ 節電リーフレットの配布

- ・夏の節電のパンフレットを増刷し、道民や企業・団体に配布

<道民向け>

④ 街頭啓発の実施

- ・道民に幅広く節電の取組を呼びかける街頭啓発を実施

⑤ 多様なメディア等を活用した節電の呼びかけ

- ・道のホームページやツイッターの活用 （実施中、随時更新）
- ・自動販売機等の電光掲示板の活用 （実施中、随時更新）
- ・記者会見など情報発信の機会の活用 （随時実施）

⑥ 包括連携企業との連携による道民の自主的な節電の取組の推進

- ・道と包括連携協定を締結する企業との協働により、道民の自主的な節電の取組を呼びかける取組を実施

<企業向け>

⑦ 関係団体への節電の協力依頼

- ・ 北海道地域電力需給連絡会の構成機関に、知事名による節電の協力依頼の文書を送付 **済**
- ・ 各部の関係団体への節電の呼びかけ

2 関係機関と連携した節電対策

① 電力需給連絡会の開催

- ・ 道内の電力不足の懸念に対応するため、経済・産業関係団体等と連携し、効果的な節電対策を推進 (9月10日10時30分開催予定)

② 地域での連絡会の開催

- ・ 各総合振興局・振興局の主催により、市町村及び関係団体を構成メンバーとした連絡会議を開催 (9月10日～14日を目処に開催予定)
 - ・ 本取組の情報共有
 - ・ 市町村や関係団体に対する節電の取組の働きかけ
 - ・ 住民に対する節電の周知についての協力要請

3 産業への影響緩和

- ・ 農業分野における営農技術対策をとりまとめ、発出
- ・ 水産業・林業・木材産業分野における節電対策をとりまとめ、発出

※調整つき次第発出

- ・ 商工業分野における節電メニューの情報提供 **済**

4 道としての節電対策

別紙「道としての節電対策について」のとおり

道路・河川の復旧作業等について

H30.9.9

- 1 上幌内早来停車場線の啓開作業について(厚幌ダム、厚真ダムへの連絡路)
 - 上幌内早来停車場線では、12カ所の土砂崩れが発生し、発災直後より啓開作業を実施中。
 - 市街地に近い方から4カ所の崩落土砂を道で撤去したのち、5カ所目からの作業は人命救助と並行作業となることから自衛隊にて作業を実施中。
 - 国が所管している厚真ダムへの道路確保のため、一部は北海道開発局で啓開作業を実施中。
- 2 厚真川の河道確保作業について
 - 厚真川では、土砂崩れにより3カ所で河道埋塞が発生し、発災直後より河道確保作業を実施中。
 - うち1カ所は人命救助と並行作業となることから自衛隊にて作業を実施。
 - 一定規模の河道は確保されたが、今後の降雨等に備え引き続き河道掘削作業を継続。
- 3 被災箇所における建設機械の配備台数について
 - 道道や町道の土砂崩れ箇所の啓開作業、河川が土砂により埋塞している箇所の河道確保作業に、地元建設業協会や自衛隊の協力を得て建設機械の配備を増強。

(単位 台)

月日	道・国 (建設業協会)	自衛隊	計
9月6日	43	21	64
9月7日	54	32	86
9月8日	72	32	104
9月9日	90	72	162

※厚真川、道道上幌内早来停車場線など

※建設機械は、油圧ショベル等

- 4 道道における節電対応について
 - ・全トンネル(119カ所)において、トンネル入り口部の明るさを夜間と同程度に減灯。
 - ・道路照明灯(約3万4千灯)のうち、交差点など交通安全上必要最小限箇所を除いて、約半数程度に消灯。
 - ・全道路情報板(635基)において、通行止めなど緊急情報が必要な場合のみ提供。

厚真川(幌内橋付近) 河道確保作業状況



上幌内早来停車場線 啓開作業状況

